

水島協同病院



火元付近の部屋からベッドごと避難する様子

6/18

手順を心得て機敏に動けるように 消防訓練

6月18日、今年度1回目の消防訓練を行いました。

今回は昼間に4階の病棟から火災が起きた想定で行い、計84名の職員が参加しました。

火元発見から、初期消火、避難誘導、非常放送、消防署への通報までを実践して流れを確認しました。この時期の訓練は毎回新入職員に多く参加してもらいため、色々課題が見つかります。日頃から消火器の位置がどこにあるのか、排煙設備はどうやって使用するのかなど普段から防災意識を持って生活しておくことがとても大切だと感じました。訓練後は消火器、消火栓の実践訓練を行い、多くの職員に体験してもらいました。

これからも地域の方に安心してご利用いただけるよう努めて参ります。

(防災委員会)



—みずきょう 今日の1枚—

2025.5.26 取り外された看板の部品
“水島協同病院外来棟”の文字のどの部分でしょう?!

みずしま協同クリニック

医師の隣のプロフェッショナル!

“医師事務作業
補助者”を
ご存じですか?



Q1

医師事務作業補助は、当院ではいつ頃からスタートしたのですか?

1問1答

医師事務作業補助者に
聞いてみました!

医師事務作業補助者は医師業務の事務的部分をサポートする専門スタッフです。医師の長時間労働や過重労働といった社会的な問題を背景に配置されるようになりました。

医師の指示の下に、診療中のカルテ入力や診断書・紹介状などの書類作成補助を行います。事務作業が軽減されることで、医師が患者さんへの対応に、より専念できるようサポートしており、医療チームの一員として日々活動しています。

(診療事務課)



Q2

当院では何科に配置していますか?

2008年度の診療報酬改定で「医師事務作業補助体制加算」が新設された翌年の2009年からスタートしました。

内科の専門外来へ配置しています(循環器・呼吸器・脳神経内科・腎臓・糖尿病外来)

Q3

医師事務作業補助をやっている良かったと思うことは何ですか?

診療補助に携わることで、検査所見の解釈の仕方や薬の知識が増え、書類作成の際に役立ちました。

医師との距離が縮まり、疑問点を尋ねたり相談がしやすくなりました。



私は中学生のころから、細々とではありますが俳句を続けています。ここ最近ではメディアでの露出も増え、興味のある方もおられるのではないのでしょうか。

俳句は、四季折々に息づく季語と自身の身の回りの出来事や発見、感情。その二つを組み合わせることによって無限の世界を作り出すことができます。俳句は十七音の世界。たった十七音かもしれませんが、その少ない言葉でいかに読み手に想像させ、深みをもたせるか。その面白さ故に、私は俳句というものに絡めとられているのかもしれない。